

国際金融論（2010）定期試験

2011年1月21日 13:25-14:25

- 講義で配布したプリント・ノート等いっさい持ち込み不可とする。
 - 講義と異なる記号を用いる場合、「 k は円建資産の利子率を表す」というように改めて定義すること。講義と同じ記号は定義せずに用いてよい（円＝ドル・レートを表す E など）。
1. 今、額面価格 100,000 円、クーポンレート 0.03、満期 5 年の利付国債が 99,000 円で購入できるとする。この債券に関する以下の問に答えなさい。
 - (a) この利付国債の利子率を求めるための式はどうか。計算式を提示すればよく、実際に利子率を計算する必要はない（5 点）
 - (b) この式から、債券の価格と利子率の間にはどのような関係があると考えられるか（5 点）
 2. 経常収支の黒字を出す国だけでなく、赤字を出す国も、ともに経済厚生が改善する可能性がある。どういうことか説明しなさい。その際、経常収支がその国の生産と支出の差であることに注目するとよい。すなわち、ある国の経常収支が赤字であるとは、その国が自国でつくった以上に支出している、すなわち他国のつくったものを借りて消費していることを意味する（15 点）
 3. 為替レートが変動するということが何を意味するのかを、あなたがドル建債券に投資する場合を例にとって説明しなさい。その際、「1 ドル 100 円、ドル建債券の利子率を 0.05 とする」などのように、具体的な数値例を設定してもよい。もちろん、記号で議論してもよい（15 点）
 4. 物価水準が低下するとき、短期的には為替レートにどのような影響が及ぶと考えられるか。「実質貨幣供給量」という言葉を用いつつ説明しなさい。ただし、ここでいう「短期」とは、為替レートの変化が製品・サービスの生産に影響を与えないような期間を指す（つまり、製品・サービス市場は考慮しなくてよい、DD-AA モデルを用いなくてよいということ）（20 点）
 5. 日本銀行が貨幣供給量を縮小させると、GDP および円＝ドル・レートにどのような影響が及ぶと考えられるか。
 - (a) 図を描いて説明しなさい。縦軸・横軸に何を測っているのかを明示すること（5 点）
 - (b) 上で求めた結果は、どのようなプロセスを経て実現されるか。言葉で説明しなさい（10 点）
 - (c) このとき、国内製品の価格および輸入品のドル建価格が変化しないとすると、日本の物価水準はどうかと考えられるか。あなたの考えを説明しなさい。ただし、物価水準とは、消費者が購入する様々な製品・サービス（輸入品も含まれる）の価格を平均したもののことである（10 点）
 6. 日本政府が円＝ドル・レートを 100 円で固定しており、日米の金利は 0.03 で等しいとする。ところが、ある事件をきっかけに人々が近い将来平価の切り下げが実行されると予想するようになったとする。
 - (a) 人々は外国為替市場でどのような理由でどのような行動を起こすと考えられるか。また、円＝ドル・レートにどのような圧力がかかり、日本銀行は平価を維持するためにどのような行動をとる必要があるか（10 点）
 - (b) 現在日本の景気が低迷している場合、それは平価の維持を困難にするか、あるいは容易にするか、考察しなさい。平価を維持するための中央銀行の行動が、中期的に GDP にどのような影響を与えるかを考えてみるとよい（5 点）